

Joby-Toyota Japan Premiere Flight 中嶋スピーチ

トヨタ自動車副社長兼 CTO の中嶋です。

本日は足元の悪い中、また遠方よりお越しいただき、誠にありがとうございます。

本日は、ここまでお越しいただくのにどのくらいお時間がかかりましたでしょうか。東京からお越しの方は1時間半から2時間ほどかかったのではないのでしょうか。このeVTOLだと、わずか25分です。

「距離と時間の感覚」を変える大きな可能性、夢を感じませんか。

空のモビリティという新しい選択肢が加わる未来は、多くの人たちの生活をさらに豊かにしていくと思います。

トヨタの「空」への想いは、トヨタ自動車 創業前までさかのぼります。

今から100年前の1925年、トヨタグループの創始者・豊田佐吉翁は、太平洋をひとつとびできる蓄電池の発明に100万円の懸賞金を寄付しています。当時大卒の初任給が60円だった頃です。ここからトヨタの空への想いが始まります。

トヨタ自動車の創業後、その航空機への想いはさらに具体的になります。

トヨタ自動車創業者の豊田喜一郎は国産車の量産と共に、パーソナルな飛行機の開発を目指しました。当時を知る、日本電装の白井武明・元会長によると、豊田喜一郎は「飛行機だとかヘリコプターだとか、しょっちゅうメモに略図を書いていた」そうです。

戦後、豊田章一郎は、まさにここ、トヨタにおけるエアロ開発 発祥の地である東富士研究所において、米国企業と世界初となる、電子制御のエアロ・ピストン・エンジンの共同開発を行っていました。

そして現在、モビリティ・カンパニーへの変革を掲げるトヨタは Joby Aviation という素晴らしいパートナーと手を組む機会に恵まれました。

2019年2月、Joe Ben CEO と当時社長の豊田が出会い、このプロジェクトは本格的にスタートいたしました。

その後も交流を重ねる中で JoeBen さんの「社会を変革したい」という想いに、豊田は「Joby 機があれば、生活が変わる。シームレスな移動を実現できれば、ゲームチェンジャーになる」と大いに共感し、共同プロジェクトが加速してまいりました。

JoeBen CEO は先ほどのスピーチの中で、「世界を変えたい。人々の生活や旅行のあり方を変えたい。環境への影響がより小さくなる世界、渋滞に悩まされることなく、大切な人や場所と過ごす時間を増やせるような世界を待ち望んでいる」とおっしゃいました。

そうした夢と情熱をもつ創業者と、すべての人に移動の自由をお届けすることを願うトヨタの想いが重なり、夢を実現していくパートナーとして共に歩み始めました。

トヨタは、JoeBen CEO のような、夢と情熱を持ったパートナーを応援し、共に世界に挑戦したい、誰もやったことがないことにチャレンジしたいと考えています。

先日の「世界一速いクルマを走らせたい」という夢を共にする Haas F1 との提携も、また、「宇宙でクルマを走らせたい」という少し前なら夢のようなことを、ルナクルーザーというプロジェクトを通じて仲間と共に挑戦していることも、同じトヨタの想いです。

本日、JOBY の eVTOL が米国以外ではじめて飛行します。

いよいよ、JOBY とトヨタが描いていた夢の実現が近づきつつあります。その夢の一部をみなさまにも実感していただきたいと思います。

それでは いよいよテイク・オフです！